

【ポスターセッション】

職員間ハラスメントが医療・福祉機関に勤務する看護師に及ぼす影響

○ 鹿児島大学 氏名 日隈利香 (会員番号 5622)

キーワード：ハラスメント、看護師、離職問題

1. 研究目的

2013年度の厚生労働省の報告¹⁾によると、2012年には前年度より150人増の475人が労災に認定され、その原因や引き金として「嫌がらせやいじめ」、「上司とのトラブル」、「セクハラ」などのハラスメント問題が急増しており、職場環境の悪化が指摘されている。精神疾患の労災申請が多い職種として最も多かったのが「社会保険・社会福祉・介護事業」であり、次が「医療業」であった。2011年に筆者が実施した全国調査²⁾において、保健・医療・福祉機関に勤務する看護師全体の24.3%が同じ職場の職員からハラスメント被害を受けていた。ハラスメントを行う職員としては「医師」が最も多く、被害を受けた職員の約半数近くが、仕事を辞めたいと思ったり、自分に自信が持てなくなるなど、看護師の働く意欲の低下や離職問題につながりうる問題を引き起こしていることが明らかになった。そこで今回、2011年度に実施した調査紙票結果を再分析し、南九州に位置するA県内（以下A県）の医療福祉機関に勤務する看護師に対しハラスメント問題が及ぼす仕事への影響や人間関係に及ぼす影響、離職問題に及ぼす影響等について幾つかの示唆を得ることが出来たのでここに報告する。

2. 研究の視点および方法

調査対象：A県内の医療・福祉機関に勤務する看護師。対象施設は2次圏データシステム無償ダウンロードサービス³⁾を用い、A県の医療・福祉施設から404施設を無作為抽出にて選定した。調査期間：2011年9月22日～11月30日。2. 設問項目及び統計処理：本研究は全29項目で構成されているが、今回は、①仕事への満足度 ②職場内の人間関係 ③辞職希望の有無 ④辞職希望の理由 ⑤職場内でのハラスメントの有無 の5項目に焦点を絞り、統計ソフトSPSS20.0J for Windowsを用いてPearsonの χ^2 検定を行い、統計学的有意水準は5%とした。3. 語句説明：労災とは、労働者が工作中や通勤途中に死亡したり、怪我や病気になる災害のこと。申請を受け労働基準監督署が審査し、業務と傷病との間に相当の因果関係があるとして労災と認定すると労災保険法に基づき療養、休業、障害の補償が支払われる¹⁾。

3. 倫理的配慮

倫理的配慮：本研究は、B大学医学部倫理審査会にて承認を得ている。対象者には研究目的・方法、プライバシー保護について文書にて説明し、研究成果発表についても承諾を得ている。

4. 研究結果

有効回答数 391。回答者の平均年齢は 41.7±10 歳であった。全体の 67.5%の看護職員（以下職員）が現在の仕事に不満を抱えており、67%の職員は仕事を辞めたいと考えたことがあると回答した。また、全体の 67%の職員が職場内の人間関係に悩んでおり、全体の 23.8%がハラスメント被害を受けていた。ハラスメント行為を行う職員は「医師」が最も多く、次が「管理職・所属長」であった。ハラスメント問題は「仕事に対する満足度」や「職場内の人間関係」、「離職問題」などに影響を及ぼしているのではないかと考え、その問題を検証するために χ^2 検定による統計分析を実施した。結果として其々に有意差が認められ、ハラスメントを受けたことがある職員はハラスメントを受けていない職員に比べ、仕事に不満を持つ人の割合や人間関係に悩みを抱える人の割合、仕事を辞めたいと考える人の割合が有意に高いことが明らかとなった ($p<0.05$)。仕事を辞めたいと考えたことがある職員にその理由を確認し、さらにそれらとハラスメント問題との関連性について χ^2 検定を実施したところ、ハラスメントを受けたことがある職員はハラスメントを受けていない職員に比べ医師との関係が元で離職を考えた人の割合が有意に高く ($p<0.05$)、上司との関係を離職理由とした人の割合は有意差までは認められないものの高い傾向にある ($p<0.1$) ことがわかった。

5. 考察

A 県内の施設に勤務する職員全体の約 1/4 弱が同じ職場内の職員からハラスメントを受けており、医療機関におけるハラスメント問題は決して特殊なことではない。今回、調査紙票を再分析することでハラスメント問題は、看護職員の仕事に対する不満や職場内の人間関係、離職問題にも悪影響を及ぼしていることが明らかとなった。また、ハラスメントの加害者として多かった医師や上司との関係が看護師の離職問題とも深く関わっているため、ハラスメント問題に対する対策が看護師の離職問題を解決する上で重要である。

6. 引用文献

- 1) 心の病「労災」475 人—3 年連続過去最悪ハラスメント急増—、南日本新聞 社会面 29 頁、2013. 6. 22.
- 2) 日隈利香、看護職員のハラスメント問題に関する研究—全国の保健・医療・福祉機関に勤務する看護師を対象にしたアンケート調査結果より—、第 43 回日本看護学会論文集精神看護、p. 129—130、2013.
- 3) 株)ウェルネス、高橋泰；2 次圏データベースシステム無償ダウンロードサービス、Copyright© WELLNESS All rights reserved, 2011.

※本研究は、平成 24 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤 C23510350）による成果の一部である。